

イチゴ「ふくはる香」の高設栽培適応性

福島県農業試験場いわき支場
平成17年度試験成績概要

- 1 部門名 野菜－イチゴ－栽植様式・栽植密度
分類コード 03-07-15000000
- 2 担当者 常盤秀夫・石郷岡典子
- 3 要 旨

「ふくはる香」を高設と土耕で栽培し、高設栽培への適応性を検討した(2003年:超促成栽培、2004年:促成栽培)。

(1)草勢は、栽培期間を通して、高設栽培が土耕栽培よりも旺盛であった。

(2)収量は、高設栽培では促成作型が600g/株、超促成作型が750g/株、土耕栽培では促成作型が550g/株、超促成作型が600g/株と高設栽培の方が多収であった。

(3)糖度は、高設栽培、土耕栽培ともに8～13度と高く、栽培法間で差は見られなかった。

(4)高設栽培において培地加温すると、「ふくはる香」の収量は増加したが、「とちおとめ」では増加しなかった。

以上より、「ふくはる香」の高設栽培は、土耕栽培と比較して生育・収量が優れ、培地加温の効果が大きい。また、糖度は、土耕栽培と比較して差がなかった。このことから、「ふくはる香」は高設栽培への適応性が高いと判断された。

- 4 その他の資料など